

第4回 Support Our Kids 海外ホームステイプログラム  
in アイルランド 実施レポート



2014年8月

Support Our Kids 実行委員会

# 1. 概要

## ■プログラム概要

日程：2014年7月24日～8月8日（16日間）

※24日:アイルランド大使館にて事前研修／8日:アイルランド大使館にて解散式

場所：アイルランド ダブリン市

参加：10名（被災地の中学3年生～高校3年生）

内容：プログラム

ホームステイ（2名/ホストファミリー）

語学(英語)研修 (Emerald Cultural Institute @St. Raphaela's Secondary School)

Dimplex会長ノクトン邸訪問

- ・公邸内（日本庭園など）案内 震災に関するスピーチ

ダブリン市長公邸(Mansion House)訪問

- ・クリスティン・バーク市長による公邸案内 震災に関するスピーチ

日本大使公邸訪問

- ・渥美千尋大使表敬訪問、震災に関する意見交換（スピーチ）
- ・渥美大使・夫人とランチ会食

駐アイルランド日本大使館訪問

- ・日本人アイリッシュハープ奏者とワークショップ、異文化理解、震災に関するスピーチ

アイルランド青少年育成大臣表敬訪問 (Leinster House)

- ・国会議事堂内ツアー、上院議員の方々と震災・日本に関する意見交換、震災に関するスピーチ

ダブリン市内観光

- ・トリニティ大学、ケルズの書、クライストチャーチ大聖堂、ダブリン城

ワンデイトリップ

- ・ベルファースト、タイタニック博物館

語学学校アクティビティ

- ・バスツアー（キルケニー城、ダンモア洞窟）、ダブリン市内観光、アイリッシュミュージック等

Google ヨーロッパ本社訪問

- ・社内見学（Googleplex）、震災に関するスピーチ・意見交換、Farewell Party

## ■プログラム企画協力

ダブリン市長公邸、在日アイルランド大使館、在アイルランド日本国大使館、Emerald cultural institute、Googleヨーロッパ本社(ダブリン)、外務省、公益財団法人ラボ国際交流センター、三菱食品株式会社、株式会社マルトグループホールディングス、株式会社ウジエスーパー、株式会社マイヤ、KLMオランダ航空（エールフランス航空）、(敬称略・順不同)

※その他、チャリティにご参加いただいた皆様、ご寄付を頂いた皆様はじめ、多くの皆様のご支援ご協力を頂いております。ご支援、ご協力をいただきました皆様、ありがとうございました。

## 2. 事前研修当日

日時：2014年7月24日 12:30～17:00

場所：アイルランド大使館

Time	Description
11:30 ~	東京駅集合 * 研修場所に移動
12:30 ~ 12:40	事務局挨拶
12:40 ~ 12:50	主催者及び来賓挨拶 ジョン・ニアリー大使 (駐日アイルランド特命全権大使) エリオット・ミルトン様 (駐日アイルランド大使館 二等書記官) 秋沢 志篤 (Support Our Kids実行委員会 事務局長)
12:50 ~ 13:10	自己紹介(日本語&英語)
13:10 ~ 13:40	ホスト国について (課題発表)
13:40 ~ 13:50	(休憩)
13:50 ~ 14:00	ホームステイプログラムの内容
14:00 ~ 14:40	ホームステイの心得・ケーススタディ 講師：鳥村 征弘様 (公益財団法人ラポ国際交流センター)
14:40 ~ 14:50	保険について 講師：志田 幹様 (AIU損害保険株式会社 リスクコンサルタント)
14:50 ~ 15:00	(休憩)
15:00 ~ 15:30	東日本大震災について
15:30 ~ 16:00	スピーチ練習 (課題発表)
16:00 ~ 16:30	グループ目標設定
16:30 ~ 16:50	個人目標設定
16:50 ~ 17:00	連絡事項
18:00	オリンピックセンター チェックイン
18:30	夕食 (オリンピックセンター内)
19:30	研修会 震災経験の共有、グループ目標設定
21:00	就寝



■■■ 7/25(金) 出発 @成田国際空港 ■■■

### 3. スケジュール

## 第4回Support Our Kidsホームステイプログラム アイルランド・ホームステイ日程予定

日付	内容			宿泊
	午前	午後	夜	
7/24 (木)	オリエンテーション(事前研修)			アイルランド大使館
7/25 (金)	成田発(10:35) ダブリン着(17:35)			ホームステイ
7/26 (土)	終日フリー (市内観光)			
7/27 (日)	Dimplex社 社長Mr.Naughton 邸訪問			
7/28 (月)	語学学校オリエンテーション	語学学校アクティビティ (市内案内)		
7/29 (火)	語学レッスン(英語)	ダブリン市長訪問		
7/30 (水)	語学レッスン(英語)	日本大使公邸にて昼食 大使館訪問・アイリッシュハーブ体験		
7/31 (木)	語学レッスン(英語)	上院議員表敬 国会議事堂見学・児童青年大臣訪問		
8/01 (金)	語学レッスン(英語)	語学学校にて震災プレゼン 語学学校アクティビティ (市内バスツアー)		
8/02 (土)	語学学校アクティビティ (キルケニーキャッスル・ダンモアケープ)			
8/03 (日)	ダブリン市内シアターにてリバーダンス鑑賞			
8/04 (月)	ワンデイトリップ：ベルファースト・タイタニック博物館 (北アイルランド)			
8/05 (火)	語学レッスン(英語)	トリニティ大学 ・ケルズの書見学 アイルランド剣道連盟との交流会		
8/06 (水)	語学レッスン(英語)	Google訪問		
8/07 (木)	ダブリン発			
8/08 (金)	日本帰国／解散式 (アイルランド大使館)			機内泊

# 4. 現地の様子①

## ■ 語学スクールの生活風景



## ■ クリスティ・バーク ダブリン市長公邸訪問 (Mansion House)



## ■ アイルランド青少年育成大臣表敬



## ■ 在アイルランド日本大使公邸・大使館訪問



## 5. 現地の様子②

### ■市内観光、ワンデイトリップ



### ■語学スクールのアクティビティ



### ■アイルランド剣道コミュニティとの交流会



### ■プレゼンテーションの様子



# 6. 解散式

## ■解散式

日時：2014年8月8日 11:30~12:40

場所：アイルランド大使館

内容：アイルランドホームステイの振り返り



一生で2度とない貴重で非常に素晴らしい体験をさせて頂きありがとうございました。これからも自分でチャンスを掴み取り多くのことにチャレンジしていきます。この感謝は必ず、将来の地元の復興や私たちの成長に代えて恩を返します。宮城 高3女子

今回のプログラムから私は、自分の世界を広げるために世界にはばたいて行きたいと思いました。そして世界中の人と「今の世の中」について話し合い、世界をより良いものにしたいと思いました。そして「東日本大震災」のことを忘れてないでいてもらうために世界中の方々に伝えていく役割を担いたいと強く感じました。福島 高2女子

私はこのプログラムで“震災を伝える”という使命を達成することができました。そしてアイルランドで貴重な体験を経験することもできました。いつかこのことを恩返しできるように、まわりのみんなに伝え、未来を託された者として立派に成長していきたいです。岩手 高1女子

私はこのプログラムをきっかけにアクティブに行動することができるようになったと思います。何に挑戦しようとも、まずは行動。そして復興に関わる者として自分が貢献したいです。なにができるかまだ模索中ですが思い立ったら行動。長期に渡り日本のために、被災地のために「伝える」活動をしたいと考えています。「伝える」ということがまず自分のできる復興だということが今回、私が出した答えです。岩手 高2女子

このプログラムに参加して、世界という視点でものごとを考えようと思いました。加えて、もっと海外について触れてみたくなりました。そのためにこれから行うHABATAKI PROJECTをはじめとする様々なプロジェクトや国際交流に積極的に取り組んでいきたいです。宮城 高2男子

## 7. 参加者の感想

自分から積極的に沢山の人とコミュニケーションをとることを心がけました。チャレンジをすることはとても勇気のいることだけど、挑戦することによって、今よりもレベルアップすることができます。これからも現状に満足することなく、いつもハングリー精神を持って生きていきたいです。

宮城 高2女子

今回は日本語・英語含め合計8回・プレゼンを行い  
機会をいただきました。このプログラムの目的である震災のことを世界の方に伝え、  
これから将来を担う私たちの自立するためには、とても良いものでした。私は、  
日本大使公邸・語学学校・Google本社にてプレゼンマセアを行いました。自分の  
震災に対する想いはしっかりと伝えられたと思っています。

宮城 高3女子



「伝える」については、私たちの使命である「東日本大震災」のことを伝えることは、  
よくできたと思います。プレゼンはもちろん、ホストファミリーの方、ホストファミリーの祖父母、  
初めてお会いした海外の方、多くの方に伝えることができました。また、私が  
最も伝えたかった、福島は安全であり、私たちは普通の生活を送っていることを  
伝えられてよかったです。

福島 高2女子

2週間のあいだに8ヶ所でプレゼンをしました。自分の出番は3回あったのですが、  
行く前は緊張しすぎてネガティブに考えていました。

ですが、やるうちにきんちょうはするものの最初ほどではなくなりましたし、伝えたいという思いがよくなりました。グーグルでは質疑応答の際に、改めて考えることもありましたが、それを伝えることも出来ました。

今後の復興のヒントになることを得ることが出来ました。

岩手 高2女子

# 8. Special Thanks



Embassy of Ireland  
AMBASÁID NA hÉIREANN  
アイルランド大使館

